



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

禍を嘆くだけでは空しい

お陰様と生かされ 有難うと生き抜こう

新型コロナウイルスの世界的感染が

始まって3年目の新年、またまたオミクロン株の感染が拡大し、警戒モードに入りました。勿論マスク、手洗い、三密回避は必須という日が続くのはやむを得ないとしても、悩ましいですね。

だが、「鬼は外、福は内」と豆まきをしたくらいではコロナ禍は退散しません。ある人の年賀状に「ひととせを越してしみじみおかげさま 先を案ずるより今を生き」という歌がありました。全くその通り、先を案ずるより、「生かされている今」を大切に生きる他ありません。

福井県越前市の真宗出雲路派・了慶寺というお寺では毎年除夜の鐘をつくに、募集した百八の法句を短冊に書いて一人一人にお配りすることによって送られてきた百八句の中に、百歳の老女の句があります。

「百歳のいのち賜り南無阿弥陀」

「弥陀の慈悲今生かされる凡夫の身」

三十五歳の時、「主人が病死、5人の子を抱えて子育て、仕事と生活に無我夢中の中で、逆境を縁に聞法の道



を歩み始めて五十年余り。外出がままならなくなった今でも沢山のお寺のご法話が掲載される法話誌の全てを読み、読後の味わいを諸先生に書き送るという。今年の法句もそんな仏法の味わいの結晶だという訳です。老境にしてなお、読書、聴聞の心を忘れない、その精進の姿に驚き、感服するばかりです。

二月十五日はお釈迦さまが八十歳にして涅槃(ねはん)にお入りになった日ですが、その少し前、(別れの時が近いこと察して)嘆き悲しむ仏弟子を前に最後の説法をなさったといわれます。

「阿難よ、私は老い朽ち、今や八十歳になった。私の身体は古びた車のようになり、がたがたになってしまった。しかし、精神の力で私の心は楽しい」

「自らを灯とし、自らをたよりとして他人をたよりとせず、法を灯とし、法を拠り所として他のものを拠り所とすることなかれ」

「阿難よ、今でも、また私の死後でも、自らを灯とし法を灯とする者は、最高の境地に入るのである。」(後註)。

「自らを灯とし、法を灯とせよ」とは、仏の教えを鏡とし、鏡に映る我が凡夫の身をよく自覚し、老いて後までもつと聞法の心を持ち続けなさい、ということ。先に紹介した老女はまさに仏教徒の鑑のようなお方ですね。

「コロナ禍を嘆くだけでは空しい。お陰様と生かされ、有難うと生き抜く道」を歩みましょう。

(註:釈尊最後の説法の部分は、豊原大成著「釈尊の生涯」(法蔵館)による)



◇2月の門信徒会例会

2月20日(日)朝8時半

《予告》春季永代経 講師:加藤学師

3月19日(土)20日(日)両日共午後1時半

※お経開き(招待者)は19日(午前)10時半

《予告》三全仏教婦人会総会 3/20夜7時光念寺様で

◇夕方5時の鐘撞き毎日誰でも撞けます。合掌できる子供を育てよう!ご褒美にガムとチョコ進呈

◇(大募集)三全仏婦主催「降誕会&初参式」

4月16日(土)午後1時より初参式

初参式を受ける赤ちゃんを大募集、参加費千円

◇一縁会テレホン法話 ☎059-354-1454

新刊本「阿弥陀さまのおはからい」好評発売中 880円

三重組5か寺が週替りの3分法話、40年継続中

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索

1年分寺報閲覧可、毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評。13年6カ月で36万7千訪問、お悩み相談歓迎 即返信します。

新納骨堂:後継者の無い方、墓でお困りの方相談を法事場所でお困りの方本堂使用可寺にご相談下さい

◇三重組連研 ZOOM 会場に1/27、2/27、3/27、4/27の4か月間の夜7時より善正寺本堂使用

☆ 写真アラカルト ☆



阿弥陀さまのおはからい

坊守スケッチ

野鳥と体内時計



先日NHKラジオで「冬休み子供電話科
学相談」という番組を聞きました。小2の女
児が「なぜカラスは時計も持っていないの
に、夕方になるとねぐらに帰っていくので
すか?どうして時間が分かるのですか?」
という質問がありました。先生は「カラスは
太陽の位置を見定めて時間を判断。夜明け
前に鳴くのは行動開始の合図。空腹が一つ
の判断材料だよ」と教えて下さいました。

抑々野生動物の生涯は、食料を探ること、
食べることに、繁殖する相手を見つけること、
それらを達成する為に移動することに費や
されます。天候悪化や外敵の襲撃、あらゆる
危機から身を守ることに注意を払います。
親は子に対して全てを教え、子は親から
これらを学び取ることが生きる目標です。
短い限られた命と時間を最大限に活かす
為に、夜明けと共に活動を開始し、日没と共
に安息の時間となります。

ところで人間の生活はどうでしょうか?
勿論人間にも体内時計はある筈ですが、そ
れよりも自分の欲望を優先し、頭で考えた
ことに従って行動しているように思います。
その結果、予期せぬストレスを抱え込み、夜
も眠れない程悩み続けて薬に頼ろうとし
ます。昼夜逆転した生活を送った結果、身体
を壊し、自分の将来を悲観する人もいます。
食べ物が増え、恵まれた時代に生きてい
るにも拘わらず、何故こんな生き辛さを感じ
るのでしょうか?人間は頭脳が発達して
いるばかりに、行動を起こすよりも先にど
ちらが得か損かを選びます。他人と比較し

たモノサシで自分の幸せを判断します。厳
しい競争社会の中で生きていくには、必要
なことかもしれないが、そこに居づらく
なった人には救いはあるのでしょうか?

その上親から子へ生きる智慧を教えるこ
とも少なくなりました。子も親から学ぼう
とはせず、人の絆の結び方も分からずに仿
徨い続けます。親から子への生き方の相統
が無ければ、寂しい人が増える一方です。
寺に嫁いでから朝6時の鐘撞きをしてき
た私は、早起きが苦にならず、規則正しい生
活が習慣になりました。私も野鳥と同じよ
うにお日様と共に目覚め、星や月を仰いで
一日を反省し、心静かに就寝します。体内時
計に忠実な寺の生活のおかげで、大きな病
気もせずに老年期を迎えたことを有難く思
います。私達のご先祖もきっとこんな暮ら
し方をされたのではないのでしょうか?

俳壇
おみがぎや仏具輝く暮仕事 釋妙水
吹雪く夜や不都合すべて封じ込め
お手つきや親子の勝負カクタリ
七草のパック求めて粥の膳 釋榮邦
日光を包んで蒲団取り込めり
どんど焼き昇る勢い火の柱
お散歩の 主も犬も着ぶぐれて 釋清風
四方よりの百味の飲食師走かな
双六の子ら身を乗り出して勝負せり
冴ゆる夜や令和の五百円硬貨 釋秀龍
ちよこちよこと歩く雪野にほく一人
淡雪をはじき飛ばすや二重跳び

若坊守の子育て日記 No.86

年末年始はとても寒い日が多か
ったですね。十二月の間に雪が積
もるとは思いませんでした。

十二月半ば、長男が友達と雪遊
びをする約束をしてきました。夜
中に積もるのを見越して、土曜日
に境内で遊ぼうというわけです。
しかし午前中も降り続き、みんな
もう来られないのではと思ってい
たら律儀に約束を守る三人の友人
が来ました。一人は靴下を濡らし、
一人はスノーブーツを履き、もう
一人は薄着でやって来ました。お
菓子を食ベビンゴや将棋をし、最
後に雪遊びです。どこからか雪を
集め投げ合って、ケラケラと楽し
そう。まだまだ四年生、可愛いも
のです。ちよっと様子見に出た私
と長女にも雪玉が飛んできました。
十二月下旬に再び積雪。サラサ
ラの雪は雪だるまに最適、私も童
心に返って作りました。

大晦日にも再び積雪。元日が真
つ白なのは初めて。雪が音を吸収
しいつもの上に静かな年始となり
ました。新しい年が穏やかな一年
になることを願います。



カンパありがとう

富田和代様、本田和子様、澤田美
智江様、水谷勝子様、服部政樹様、
広田伊久枝様、木田ミキ様、樋口
勝彦様、綴詰富美世様、館敏彦様、
他匿名様より、感謝申し上げます。
お悔み申し上げます

★佐藤和義様(12月16日往生。
77歳)連研終了後、門徒推進員
として三重組の活動にご報酬下さ
いました。合掌

ホントニュース

※一縁会テレホン法話の最新刊本
『阿弥陀さまのおはからい』(自照
社刊、880円)が新年に発行。善
正寺より住職が4編、坊守と若院
が1編ずつ掲載。三重組5か寺の
住職らが結成し、40年近く続く
テレホン法話。現在は第2世代に
移行中。読みやすい仏教エッセイ。
※三重組連研オンライン講習の会
場に善正寺も選ばれ、1月から4
か月間27日夜に、本堂でZOOM
を使った研修が開催されます。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」338号をお届けし
ます。◇コロナ三年目の冬もまた、感
染対策を余儀なくされる事態、本山の
御正忌報恩講も昨年に続き要警戒ム
ード。◇だが、吹雪の中の除夜の鐘に
は、沢山の方々が「世の中安穩なれ、
仏法広まれ」と鐘をついて頂いた。◇
生かされる命を無駄にせず、お念仏諸
共に強く明るく生き抜きましょう。

このままコロナが治まるのかと思いきや、感染力の強いオミ
クロン株が徐々に浸透してきました。もうこれ以上の制
限は嫌だ、我慢の限界だという声があちこちから聞
こえてきます。お寺の行事も予定が立たず左往左往
対策としてオンラインと対面を併用した会議も広がって
きました。3月19・20日の永代経は大丈夫かしらと不安が
ありますが、従来通りにできなくても短縮版で粛々
とつなぐしかありません。ところでコロナ流行前後の高
齢者の要支援・要介護の人数を比較した調査結
果が発表されました。それによると介護認定を受け
る人が数十万人も急速に増加したそうです。このまま
自粛生活が続くならば更に増えます。ところで三重
県の女性は健康寿命が日本一長い77歳と発表
されました。女性の平均寿命は87歳ですから約10
年間は医者通いや介護のお世話にならなくては
なりません。何故三重県の女性が日本一なのかを考
えてみると、明るく行動的な人が多く人とつながるこ
が大好きな人が多いからです。また生涯現役で働き
続ける田畑があるのも生き甲斐になります。たとえ
どんな地域に住もうとも、高齢者を孤立させない
という思いやりと声掛けも大切です。お寺はお悩み相
談には相応しい場所です。あなたの心の居場所として
お悩みを聞かせて下さい。行政にはない仏様のお智恵
を拝借してあなたの心の闇を晴らしましょう。合掌

令和4年2月

善正寺坊守 拝